

【 公募型プロポーザル審査結果の公表 】

桑名市情報交流施設「又木茶屋」利活用事業に係る公募型プロポーザル審査結果の公表について

桑名市情報交流施設「又木茶屋」利活用事業に係る公募型プロポーザル審査結果の公表について、委託予定事業者が決定しましたので、公表します。

1. 経緯

桑名市情報交流施設「又木茶屋」（以下「又木茶屋」という。）については、平成16年の合併以後、約12年間、合併前と同じ状態で施設の運営をしてきましたが、ここ数年、来場者数も減少傾向にあり、施設における物品等の販売収入と施設の維持管理の支出の差が大きくなり、加えて、本市の財政状況は、非常に逼迫しており、施設の見直しを検討することが必要となってきました。

これまでの又木茶屋では、主に文化的に価値の高い展示に加え、呈茶サービスや市民の方々のパッチワーク等を行う交流の場としての活用でした。こういった事業内容であれば、市が直接運営するより、民間事業者の方がより効果的な事業によって人の賑わいが感じられる施設として有効活用ができると考えました。

そこで、民間事業者との対話（サウンディング型市場調査）を実施し、民間企業による活用の可能性を把握しました。この対話を通じて、本市では、民間事業者のノウハウを活用し、又木茶屋の既存建物及び敷地の有効活用を図り、これまでの活用に加え、より地域に賑わいが生まれ、地域貢献できる施設の活用を目指し、公募型プロポーザルによる提案を募集しました。

その結果、2件の提案をいただきましたので、桑名市情報交流施設「又木茶屋」利活用委員会において審査をし、委託予定事業者を決定しましたので、公表します。

2. 審査結果

委託予定事業者 有限会社 すずらん

3. 講評

委託予定事業者である有限会社すずらんは、提案内容がプロポーザルにおける公募仕様に合致しており、事業の継続性や地域貢献について高い評価となりました。

次点者であるA社については、提案内容については画期的であり、事業の継続性が見込めるものでしたが、全体的に委託予定者の方がより優れていると判断をいたしました。

なお、今回、公募型プロポーザルで提案をいただきました事業所の方々におかれましては、本事業に真摯にご対応いただき、独自のノウハウにより多彩な提案をいただきましたことに深く感謝申し上げます。

今後とも引き続き市政への御協力をお願いいたします。